



エコ・ファースト企業としての自主宣言行動 夏季のピーク電力節電対策及び節電目標

平成 23 年 5 月 18 日

環境大臣 松本 龍 殿

積水ハウス株式会社
代表取締役会長 兼 CEO

和田 勇

積水ハウス株式会社と積水ハウスグループ各社は、エコ・ファースト企業として以下の通り、夏季のピーク電力15%カットに向けて積極的に取り組むことを自主的に宣言し、行動してまいります。

●生産部門(関東工場、東北工場)

・工場内における輪番制や時差操業による電力消費の平準化、東京電力・東北電力エリア外への一部生産シフト、各種節電施策の実施等により、ピーク電力カットに努めます。

●オフィス部門

- ・関連企業も含めてクールビズを実施。冷房温度を28℃にすることで節電を図ります。
- ・外出することの多い営業社員などが駐在する事務所では、在室人員に応じて利用エリアを集約し、照明・冷房の対象面積を削減することで電力の削減を図ります。
- ・減灯、消灯、OA機器の集約、待機電力機器の利用停止などを徹底します。
- ・帰宅時に東面のブラインドを閉めて帰ります(朝の太陽光の侵入を防ぐことで冷房の省エネを図ります)。
- ・大人数が集まる会議や研修は、できる限り東京電力・東北電力エリア外で開催します。

●住宅展示場、ショールーム等

- ・基本的には展示場、ショールームを、省電力生活の提案の場として活用します。
- ・既に推進している、展示場やショールームの照明の白熱灯からLEDへの交換を5月中に完了します。
- ・お客様のご理解を得られる範囲で、来場者の少ない平日の日中は冷房の使用を控えピークカットを図ります。
- ・ピーク電力を削減する生活スタイルをまとめた冊子をお客様に配布し、またお客様ご自身が展示場で電力計などを使いながら省エネ体験できるようにすることで、省電力生活スタイルの啓発に努めます。
- ・設置可能な展示場では、グリーンカーテン等により、自然の風や緑陰などを積極的に活用し、節電しながら快適に過ごせる暮らし提案を行います。
- ・「快適に冷房しながら省電力にも役立つ太陽光発電や燃料電池を標準装備したグリーンファースト」の新築に占める比率を70%から75%に高めます。

●オーナー様の省エネ住宅の提案、節電の暮らし工夫提案

- ・全国70万世帯のオーナー様(東京電力・東北電力エリア内は30万世帯)に呼びかけ、省エネ、節電の暮らしを提案します(オーナー様向け会報誌「きずな」、ネットオーナーズクラブ、節電アクションコンテスト等)。
- ・エネルギー消費を大幅に削減できる、省エネ・創エネリフォーム提案を強化します。

●具体的な削減量

- ・工場部門では、最大電力消費を 2010年度 東北工場1,747kW、関東工場5,181kWであったものを15%削減し、東北工場1,485kW、関東工場4,404kWとします。
- ・事務所及び展示場部門では、最大電力消費が不明なため、7~9月の電力消費合計 東北電力管内102万kWh、東京電力管内706万kWhを総量で15%削減し、それぞれ87万kWh、600万kWhとします。

以上